

平成26年度 小美玉市立堅倉小学校 学校関係者評価書

小美玉市立堅倉小学校 学校関係者評価委員会

1 学校関係者評価委員会の総評

- 先生方は、子ども達に進んで関わり、労を惜しまず一生懸命に指導を行っている。学力向上のための校内研修に力を入れ、ベテランの先生も若手の先生も、教え合い学び合いながら指導力が向上している。
- 子ども達の学習態度も全体的に落ち着いており、先生と子ども達が一緒に一つのことに集中している雰囲気が感じられる。楽しいと感じながら学習している子どもの姿が多く見られた。
- 保護者から求められることが多様になっているが、学校として誠実に対応している。
- 保護者自身の生活習慣が変わり、起床・就寝の時刻、食生活、言葉づかいやマナーの在り方など、学校で指導することが増えている。生活習慣と学習習慣の関連性や、食材・栄養バランスに関する「食育」など、家庭教育の在り方についての見直しが必要である。
- 家族そろって食事をしたり話し合ったりして、一緒に何かをする機会が減る傾向にある。同一のテーマについて親子で話し合う「親子会議」の取組は、これからも継続してほしい。

2 分野別評価

分野	学校の取組に関する評価と今後の改善点
学習指導の工夫改善	<ul style="list-style-type: none">○ 指導力の向上が、学習形態や板書などの工夫にも見られた。さらに授業研究に意欲的に取り組んでもらいたい。○ 学んだことを自分のものにして、言葉や文章、作品などの方法で表現するレベルが高いと感じた。子ども同士が、互いに見合ったり聞き合ったりする機会をもつことは大変よい。今後も、子ども達が表現することを楽しめるような指導に力を入れてほしい。○ 家庭学習への意欲も向上し、時間的にA基準を達成している子どもが増えている。家庭に協力を呼びかけ学習内容についても工夫させてもらいたい。
温かな人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none">○ 児童アンケートの「学校に来るのが楽しい」「隣の人やグループでの話合いがよくできている」「係活動をみんなと協力して楽しく行うことができる」などの項目の数値が高く、保護者アンケートでも「子どもは学校生活が楽しいと言っている」という項目についての満足度が高いという説明があった。○ 「友達の将来の夢や希望を知っている」という項目の数値が低いので、話し合う場を意図的に設定し、学校・家庭・地域が協力してはぐくむようにしていきたい。
家庭や地域との連携	<ul style="list-style-type: none">○ 「学校は教育活動の様子や成果・課題などについて情報を提供している」「学校は保護者が参加する機会をよく設けている」「文書やたよりをよく見ている」と答えた保護者が多い。しかし、「相談しやすい雰囲気がある」と感じている保護者は多いとは言えない。先生方から積極的に声をかけながら、保護者の思いや願いを受け止めていくように働きかけてもらいたい。○ 学校支援ボランティアの取組については、コーディネーターを中心に有効に活用されているようである。活動の時期や内容などについて、年度初めに具体的に年間計画が提示されると、さらに参加者の輪が広がり充実してくると思われる。